
めんどくさい

侯華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

めんどくさい

【Nコード】

N9683D

【作者名】

侯華

【あらすじ】

めんどくさい・・・ただの甘え！ですよねえ^^

生きるのがめんどくさくなった。
だから死のうかと考えた。
でも死ぬのもめんどくさい。

食べ物を買おう。

でも めんどくさい。

だから デリバリー。

たべても 捨てるのが面倒だ。

ここ最近外出していない。

あんな事件があつたから。

彼女を殺した。

付き合いがめんどくさくなった。

「好き」という感情がめんどくさくなった。

好かれることがめんどくさい。

そう思ったとたん、彼女から別れを告げられた。

「もう無理」その一言だった。

なんとなくうれいような・・・

でも自分の思いが勝手に動いた。

「めんどくさいから殺す」

別れてもめんどくさい。

僕は、持ってきたナイフで殺した。

一突きだった。

彼女は笑っていた。

「死ね」と叫びながら。

こんな事を思っている事がめんどくさい。
この感情。この体。この命。
全てがめんどくさくなってきた。

「じゃあ最後ぐらい動くか」
キッチンから包丁を。

引き出しからペン、紙を。

「全てめんどくさくなって死にました」
一言かいた。

それ自体めんどくさかったから。
いよいよ本題だ。

どうさせばめんどくさくないのか。
それを考えている事もめんどくさい。

サクツ・・・・・・・・・・

「これが一番楽な死にかた」
笑いながら彼女が立っていた。
死んだはずの彼女が。
でも正解だ。
自分で死ぬより。人に殺してもらえば。
そう思っていると・・・・・・・・

僕は・・・・・・・・
この世から・・・・
消えた・・・・・・・・

すべてめんどくさいことで・・・・・・・・

なぜ彼女は生きていたのか・・・
そうだ・・・

ぼくはあの後逃げたんだ。

彼女をおいて・・・

殺したはずの彼女はの笑い声が

いつまでも僕の体にまとわりついている気がした・・・

(後書き)

どうでしょうか?? 評価お願いします!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9683d/>

めんどくさい

2010年10月15日11時07分発行